令和元年度富士市立神戸小学校

# 学校関係者評価（報告）

1　前期学校評価に関する意見・提言

（1）評価日

令和元年 11 月８日（金）

（2）評価者

学校評議員４人（欠席１人）

（3）意見・提言等

授業参観後、第２回学校評議員会を開催。授業や前期学校評価（自己評価）・第 1 回神戸大運動会についての意見・感想等を伺う。

＜前期学校評価に関して＞

- あいさつに関しては、確かに課題だと思われる。地域でも「いってらっしゃい。」「おかえりなさい。」の声かけをすることもあるが、高学年の児童は、どう応えたらよいか戸惑っているようであった。
- 声掛け事犯も多くなり、子どもたちも気軽にあいさつが言えない雰囲気を感じる。大人も疑われることを恐れ、あいさつの声かけをためらってしまう。難しい時代になった。
- 集団登校から個別登校になって、1 週間ほど過ぎたが子どもの様子はどうか教えていただきたい。
  →この 1 週間の気になる様子、指導した内容を伝える。さらに、12 月学校便りでもその後の様子を報告することを約束。
- 地域の見守り体制が整っていないため、今後見守りボランティアを募るなどの動きも必要となるのでは。

＜大運動会に関して＞

- 地域でも現在アンケート実施中。11 月末までに集約し、12 月には来年度に向けた学校、PTA との話合いをもちたい。
- 種目に関して…
  - ◆ 最後のリレーで大人の順番に小学生を走らせた地区については、把握ができていなかったため、改善を求めたい。（例：年代フリーは、中学生以上とする）
  - ◆ 低学年の表現力、高学年の感動的な演技、どちらも心に深く残っている。
  - ◆ 雨乞い曼陀羅は、来年は遠慮していただく方向で。
- 養護係として医師が常駐していたことは心強い。来年もぜひお願いしたい。また、救急車を呼ぶと大事になるので、緊急車両を用意しておくようにする。

２　後期学校評価に関する意見・提言

（１）評価日

令和２年２月 21 日（金）

（２）評価者

学校評議員３人（欠席２人）

（３）意見・提言等

校長より後期の教育活動の経過報告をし、その後後期学校評価（自己評価）結果報告についての意見・感想等を伺う。

＜経過報告に関して＞

- 富士東高校でも PTA 主催の職業講話を実施している。小学生のうちは、将来の職業に関してはまだ夢の段階ではあるが、このような機会を設けていくことは必要である。（６年生のキャリア教育に関して）
- トウモロコシの収穫は一緒に参加させてもらった。子どもたちが自主的に最後まで取り組む姿を見ることができた。仲間と一緒に作業するよさも感じられた。（２年生生活科に関して）
- 学校外の社会とのつながりを大切にした学習は、子どもたちの適応能力を育むことに関して大切なことである。このような学習環境を意図的に設定ことを継続していただきたい。（全体的な内容に関して）

＜登校に関して＞

- 個別登校により、車での送迎が増えたようであるが、学校としてのルール（駐停車スペース等）は決めた方がよい。
- 登下校の責任については、本来は保護者であるが、学校がサービスとして責任を負う形になっているのではないかと思う。それぞれの家庭によって、登校の方法（集団か個別）に関する意見は違っているが、学校が責任を負うのであれば、学校としての考え（集団か個別）を伝えて実施していけばよい。
- 今宮地区は距離があるため、子どもたちが遊び半分で登下校を楽しんでいる様子を感じる。歩くことの大切さの反面で、その裏には危険を含んでいることを伝えていきたい。
- 今宮地区では、登校に関しても保護者同士のネットワークが構築されている。付き添いボランティアも同行している。このような顔が見える関係を構築していくことが大切である。

＜その他＞

- 地域の人が子どもたちをしっかりと見ていることが神戸地区のよさである。三世代で暮らす家も多く、核家族世帯もそれに影響されている環境が、子どもたちにとってよい影響を与えている。
- 木製の机と椅子は貴重なものである。ただし、子どもの成長に応じた高さ調整ができていないようなので、しっかり行っていきたい。